

噴火湾沿岸市町村のイメージ構造に関する研究

Analyses on the Image Structure of Municipalities in Funka Bay

室蘭工業大学大学院 ○学生員 奥山 元晴(Motoharu Okuyama)
専修大学北海道短期大学 正 員 榊谷 有三(Yuuzou Masuya)
室蘭工業大学工学部 フェロー 斎藤 和夫(Kazuo Saitou)

1. はじめに

近年、価値観の多様化などから、従来の画一的な中央集権的社会から個性豊かな地方分権社会への転換が求められているが、自治省においても「市町村合併の推進」や「広域行政圏」などが推進され、今後ますます地域や地方の個性や豊かさが求められる。このような状況で地域づくりを進める場合、地域のアイデンティティーを確立することが必要とされている。

そこで本研究では、噴火湾というシンボリックな要素を共有している噴火湾沿岸市町村を1つの地域として捉え、各都市のイメージを探るためにアンケート調査を行い、SD法を用いてイメージを明らかにし、その相違を探り、地域の象徴である噴火湾のイメージの各都市へのイメージへの関わりを明らかにすることを目的としている。

2. アンケート調査

(1)調査対象地域
本研究では噴火湾岸沿いの市町村のうち砂原町・鹿部町・南茅部町・楳法華村の南部地域調査対象とした。

(2)アンケート調査内容
アンケート調査の方法は各町村100部を目標とし、住宅地図から無作為に選出した家庭を訪問し留置式アンケートを行った。以下にアンケートの内容を示す。

①属性の調査
アンケート被験者の性別、年齢、職種、居住年数の調査をした。

②都市の総合評価とイメージ評価
都市に対する総合的な意識評価項目として「好き」、「豊かな」を設定し、「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」の5段階評価を行う。

次に日常生活の中で多様な価値観・潜在意識によって心的環境を創りあげているものを都市のイメージとして、視覚・構造的要素、雰囲気・質的要素、文化的要素の3つを取り上げ、これに対応する言語尺度をKJ法を用いて形容詞23項目に集約、設定し、5段階評価を行う。

③噴火湾のイメージ調査
噴火湾のイメージを探るため、噴火湾から想像するものとして、「釣り」「マリンスポーツ」「親水(海水浴など)」「クルーズ」「漁業」「その他」を設定し、この中から1つ選択する。

3. 集計

(1)アンケートの回収状況

アンケート調査は平成12年10月に行った。回収状況を表-1に示す。

(2)属性の集計

各都市の属性別の集計を表-2に示す。

表-1 アンケートの回収状況

調査対象	人口 (人)	有効回収数 (部)	配布に対する 有効回収率(%)
砂原町	5208	70	76.1
鹿部町	4886	79	76.7
南茅部町	7936	102	94.4
楳法華村	1688	85	78.7

表-2 各町村の属性別集計

属性		砂原町	鹿部町	南茅部町	楳法華村
性別	男性	33	40	72	37
	女性	37	39	30	48
年齢	18歳～29歳	14	9	6	6
	30歳～39歳	12	16	13	14
	40歳～49歳	20	17	23	20
	50歳～59歳	17	19	42	21
	60歳～69歳	5	15	15	21
	70歳以上	2	3	3	3
職業	農林漁業	16	23	57	19
	商工サービス業	8	9	10	10
	自由業	5	0	2	2
	管理職	2	3	4	2
	技能・労務職	4	3	5	3
	事務・技術職	4	8	3	1
	有職主婦	3	6	9	13
	専業主婦	23	23	10	22
	学生	0	0	0	0
	その他	5	4	2	13
居住年数	2年未満	3	4		3
	2年～5年	3	2	1	3
	6年～10年	5	5		2
	11年～20年	8	9	8	14
	21年～30年	14	19	22	10
	31年以上	37	40	71	53
噴火湾	1. 釣り	9	30	20	19
	2. マリンスポーツ	0	1	7	6
	3. 親水	3	0	3	3
	4. クルーズ	0	1	1	0
	5. 漁業	57	46	71	55
	6. その他	1	1	0	2

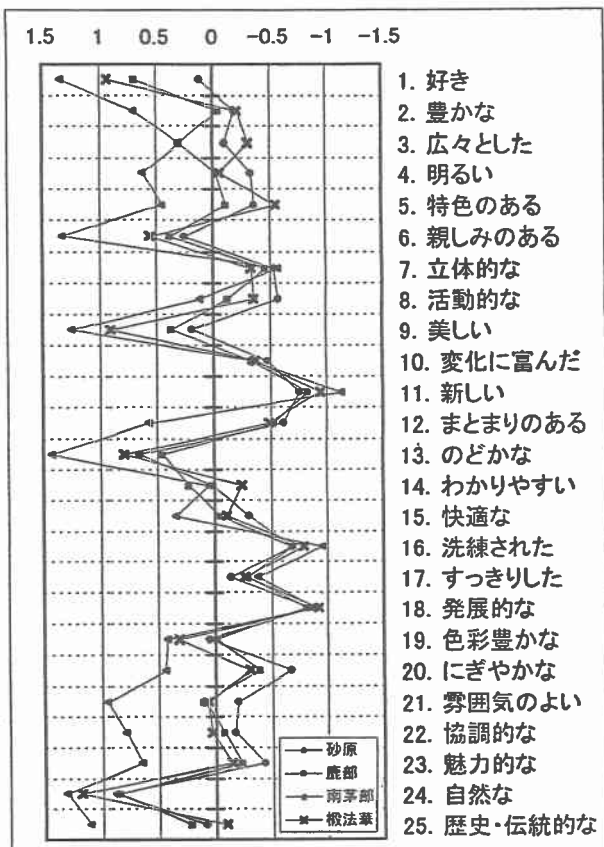


図-1 各町村のイメージプロフィール

(3) 総合評価、イメージ評価

アンケートにおいて総合評価の項目の5段階評価を集計し、「そう思う」～「そう思わない」に対して、「2点」～「2点」を与えてその平均を取った。また、イメージ評価の形容詞各項目についても同様の操作をし、イメージプロフィールを作成した。その結果を図-1に示す。

総合評価に関しては、「好き」は4つの町村ともプラスではあるが、アンケートの結果を見る限りでは南茅部町、楢法華村では「好き」という意見は多かったが、砂原町、鹿部町ではそれほど多くはなかった。これは「そう思わない」・「あまり思わない」という意見が少なく、「どちらともいえない」という意見が多かった為だと思われる。「豊かさ」については南茅部町だけがプラスになっており、他の3町村は0に近いマイナスになった。これは「どちらともいえない」が多かったこともあるが、「そう思う」「まあそう思う」と「あまりそう思わない」「そう思わない」がそれぞれほとんど同数であったことが挙げられる。

イメージ評価については、詳しい分析は後に挙げるが、全体的に4町村とも似たような傾向が現れた。

(4) 噴火湾のイメージ集計

各町村の噴火湾に対するイメージの集計結果を表-3に示す。噴火湾のイメージの多数が「漁業」であり、次いで「釣り」となっている。これは漁港が多く噴火湾が生活に密接しているためと思われる。また、「親水」等のイメージが低いのはこの地域は海岸が岩場が多く、潮の流れも急なため、海水浴などには向かないという地理的条件が影響していると考えられる。

表-3 噴火湾のイメージ集計結果

イメージ	砂原町		鹿部町		南茅部町		楢法華村	
	票数 (票)	割合 (%)	票数 (票)	割合 (%)	票数 (票)	割合 (%)	票数 (票)	割合 (%)
1. 釣り	9	12.9	30	42.9	20	19.6	19	22.4
2. マリンスポーツ	0	0	1	1.4	7	6.9	6	7.1
3. 親水	3	4.3	0	0	3	2.9	3	3.5
4. クルーズ	0	0	1	1.4	1	1.0	0	0
5. 漁業	57	81.4	46	65.7	71	69.6	55	64.7
6. その他	1	1.4	1	1.4	0	0	2	2.4
合計	70	100	79	113	102	100	85	100

4. イメージの構造分析

(1) 各町村のイメージ

アンケート調査から得られた各町村に対するイメージ(イメージ評価の23項目)のSD法による因子分析の結果を表-4～7に示す。各町村の因子分析の結果因子から固有値1以上のものを抽出した。抽出された各因子に含まれる因子負荷量の大きい形容詞をもとにした因子の解釈は次のようなものである。(第1因子から)

- 砂原町：雰囲気性、活動性、発展性
- 鹿部町：活動性、雰囲気性、自然性
- 南茅部町：雰囲気性、活動性、協調性
- 楢法華村：活動性、自然性

因子命名の結果、この地域のイメージは活動性、自然性、協調性、雰囲気性、発展性で表される。南茅部の第2因子(活動性)はほとんどがマイナスの負荷量であることから、活動性とは正反対のイメージと考えられる。

表-4 砂原町の因子分析の結果

因子解釈		雰囲気性	活動性	発展性
No.	イメージ項目	因子1	因子2	因子3
12	まとまりのある	0.657	0.227	0.028
22	協調的な	0.578	0.359	0.234
25	歴史・伝統的な	0.559	0.083	0.221
5	特色のある	0.551	0.047	0.375
23	魅力のある	0.537	0.120	0.421
9	美しい	0.506	0.289	0.097
13	のどかな	0.450	0.316	-0.384
14	わかりやすい	0.285	0.080	0.005
17	すっきりした	0.469	0.456	-0.128
24	自然な	0.128	-0.017	-0.064
15	快適な	0.342	0.478	0.090
21	雰囲気の良い	0.269	0.603	-0.016
4	明るい	0.197	0.577	0.230
20	にぎやかな	0.155	0.553	0.337
6	親しみのある	0.137	0.669	0.096
8	活動的な	0.016	0.639	0.406
3	広々とした	0.182	0.371	0.189
19	色彩豊かな	0.299	0.307	0.162
10	変化に富んだ	0.309	0.089	0.596
16	洗練された	0.294	0.144	0.479
18	発展的な	0.229	0.167	0.520
7	立体感のある	0.052	0.103	0.617
11	新しい	-0.169	0.228	0.551
固有値		5.826	1.869	1.192
寄与率(%)		25.330	8.126	5.182
累積寄与率(%)		25.330	33.456	38.638

表-5 鹿部町の因子分析の結果

因子解釈		活動性	雰囲気性	自然性
No.	イメージ項目	因子1	因子2	因子3
22	協調的な	0.723	-0.037	-0.027
17	すっきりした	0.624	0.042	0.069
18	発展的な	0.620	0.129	0.099
16	洗練された	0.599	-0.191	0.228
25	歴史・伝統的な	0.512	0.188	0.085
11	新しい	0.497	0.200	0.039
8	活動的な	0.465	0.387	0.328
20	にぎやかな	0.437	-0.019	0.078
12	まとまりのある	0.433	0.370	-0.173
23	魅力のある	0.210	0.180	0.111
6	親しみのある	0.134	0.526	0.083
7	立体感のある	0.115	0.553	0.161
5	特色のある	0.049	0.623	0.120
4	明るい	0.001	0.453	0.395
3	広々とした	-0.215	0.412	0.379
13	のどかな	-0.086	0.164	-0.111
10	変化に富んだ	0.282	0.161	0.506
14	わかりやすい	0.275	0.292	0.409
19	色彩豊かな	0.274	-0.027	0.456
9	美しい	-0.077	0.259	0.678
15	快適な	0.321	0.151	0.355
21	雰囲気の良い	0.203	0.084	0.418
24	自然な	0.010	0.074	0.227
固有値		4.992	2.089	1.328
寄与率(%)		21.704	9.081	5.776
累積寄与率(%)		21.704	30.786	36.562

表-6 南茅部町の因子分析の結果

因子解釈		雰囲気性	活動性	協調性
No.	イメージ項目	因子1	因子2	因子3
23	魅力のある	0.660	-0.209	0.188
15	快適な	0.595	-0.119	0.228
14	わかりやすい	0.594	0.133	-0.075
5	特色のある	0.578	-0.143	0.108
7	立体感のある	0.527	-0.132	0.046
17	すっきりした	0.526	-0.191	-0.050
9	美しい	0.458	-0.056	0.094
3	広々とした	0.380	-0.039	0.086
21	雰囲気の良い	0.379	-0.264	0.348
10	変化に富んだ	0.344	-0.498	0.059
16	洗練された	0.282	-0.648	-0.106
11	新しい	0.260	-0.339	0.067
18	発展的な	0.202	-0.729	-0.110
6	親しみのある	0.092	-0.338	0.042
19	色彩豊かな	0.078	-0.393	0.288
4	明るい	0.033	-0.428	0.302
13	のどかな	0.032	-0.222	-0.008
8	活動的な	0.000	-0.558	0.257
20	にぎやかな	-0.188	-0.623	0.327
22	協調的な	0.202	-0.040	0.669
12	まとまりのある	0.074	-0.221	0.417
25	歴史・伝統的な	0.072	-0.127	0.417
24	自然な	0.028	0.134	0.288
固有値		4.370	1.803	1.098
寄与率(%)		18.999	7.839	4.773
累積寄与率(%)		18.999	26.837	31.610

表-7 椴法華村の因子分析の結果

因子解釈		活動性	自然性
No.	イメージ項目	因子1	因子2
16	洗練された	0.760	0.231
17	すっきりした	0.712	0.250
8	活動的な	0.694	0.146
11	新しい	0.664	0.140
18	発展的な	0.662	0.085
7	立体感のある	0.614	0.163
15	快適な	0.611	0.462
20	にぎやかな	0.590	0.103
4	明るい	0.562	0.423
5	特色のある	0.531	0.170
23	魅力のある	0.491	0.390
22	協調的な	0.486	0.390
25	歴史・伝統的な	0.422	0.115
3	広々とした	0.416	0.337
10	変化に富んだ	0.294	0.050
21	雰囲気の良い	0.582	0.506
14	わかりやすい	0.440	0.426
12	まとまりのある	0.365	0.428
19	色彩豊かな	0.316	0.520
6	親しみのある	0.182	0.669
24	自然な	0.129	0.615
13	のどかな	0.121	0.699
9	美しい	-0.029	0.502
固有値		7.960	1.444
寄与率(%)		34.609	6.277
累積寄与率(%)		34.609	40.886

(2)都市のイメージと噴火湾のイメージ

本研究では噴火湾というシンボル要素を共有する地域において、噴火湾のイメージの各都市へのイメージの関わりを明らかにすることを目的としている。そこで、噴火湾のイメージを属性に取り、噴火湾に対して同じイメージを抱く人たちが抽出された因子ごとにどの程度関わりを持っているのか、その相違を探るため、当該因子の属性ごとの因子得点を算出し、その結果を図-2～5に示した。

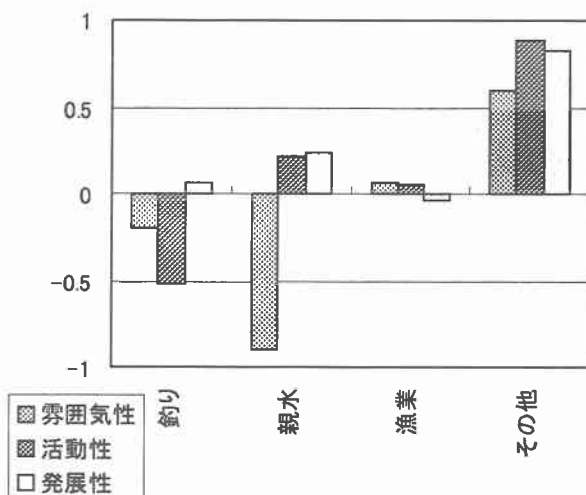


図-2 砂原町の都市と噴火湾のイメージの関係

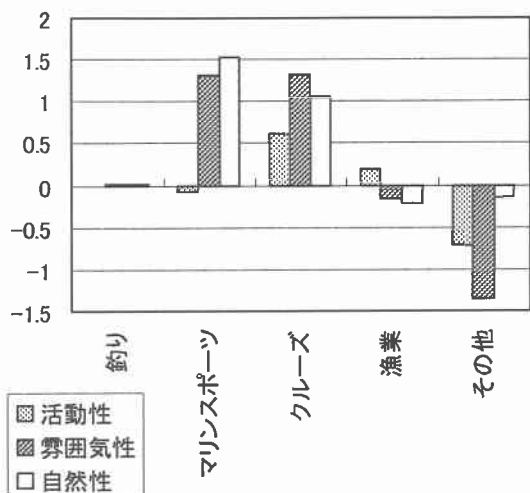


図-3 鹿部町の都市と噴火湾のイメージの関係

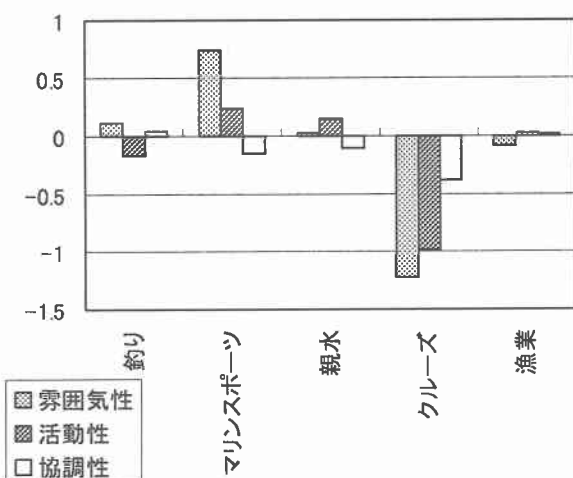


図-4 南茅部町の都市と噴火湾のイメージの関係

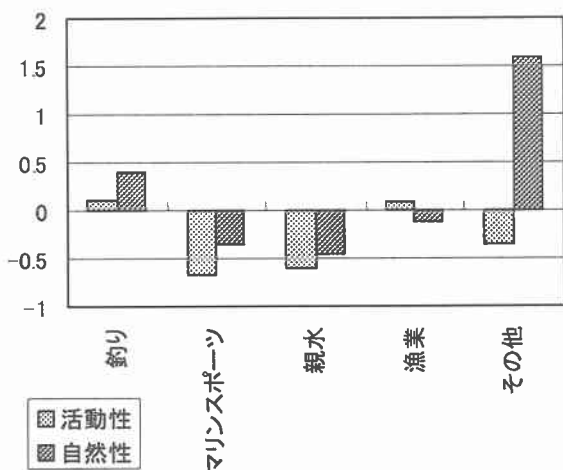


図-5 楳法華村の都市と噴火湾のイメージの関係

図-2 において砂原町の場合、回答者の 8 割が「漁業」と答えており、雰囲気性と活動性にはプラスのイメージを持っているが、発展性についてはマイナスのイメージを持っている。その反面、「釣り」と答えた 1 割の人はまったく逆のイメージを持っていることがわかる。

図-3 において鹿部町の場合、「漁業」と答えた人 6 割強に対して、「釣り」と答えた人が 4 割であったが、砂原

町同様「漁業」と「釣り」ではまったく逆のイメージを持っていることがわかる。

図-4 において南茅部町の場合、7 割の人が答えた「漁業」は「雰囲気性」がマイナスのイメージで「活動性」「協調性」がプラスのイメージになっている。また、2 割の人が答えた「釣り」では同じく「協調性」がプラスのイメージであるが、「雰囲気性」「活動性」は「漁業」とは逆のイメージを持っていることがわかる。「マリンスポーツ」の「雰囲気性」が高くなっている。

図-5 において楳法華村の場合、6 割強の人が答えた「漁業」は「活動性」がプラスのイメージで、「自然性」がマイナスのイメージとなった。これは「漁業」を産業と捕らえている人が多いためと考えられる。

全体として「釣り」「漁業」と答えた人の都市に対するイメージが低いのは、イメージが分散しているためで各町村単位で見た場合、都市のイメージと噴火湾のイメージの関連は薄いと思われる。それ以外の「マリンスポーツ」「親水」「クルーズ」での都市に対するイメージが高いのは 1 割程度の人しか答えていない少数意見であるため、イメージが集中してしまったと思われる。

6. 結果

本研究で得られた結果は次のとおりである。

- 噴火湾地域各町村住民の各町村に対する潜在的共通意識、すなわち、都市のイメージを明らかにした。
- 噴火湾のイメージは「漁業」が多く、次いで「釣り」となり、産業のイメージが強いことが示された。
- 因子分析の結果得られた都市のイメージと噴火湾のイメージの関係を明らかにした。

7. おわりに

都市の枠を越えて地域を捉えた計画はすでに行われつつある。ある地域を定める際、1 つの要素を中心に地域をとらえることが多くあるが、本研究においてシンボル要素の各都市のイメージとの関係、またそれらを総括的に地域のイメージとしてとらえて説明されることがわかった。今後の課題としては、これらの結果を都市・地域づくりに反映させる方策を検討することが挙げられる。

参考文献

- 1) 石見利勝・田中美子：地域イメージとまちづくり、技報堂、1992
- 2) 岩下豊彦：SD 法によるイメージの測定、川島書店、1983
- 3) 尾藤章雄：都市の地域イメージ、大明堂発行、1996
- 4) 日本建築学会：建築・都市計画のための調査・分析方法、1987
- 5) 志水英樹：街のイメージ構造、技報堂、1992
- 6) 石崎裕幸・斎藤和夫・田村亨・榊谷有三：都市のイメージ構造と地域特性に関する研究、土木計画学研究・論文集 No19、1996
- 7) 佐々木琢磨・斎藤和夫・安藤輝夫：噴火湾沿岸市町村のイメージ構造に関する研究、土木学会北海道支部 論文報告集 第 55 号(B)、1999